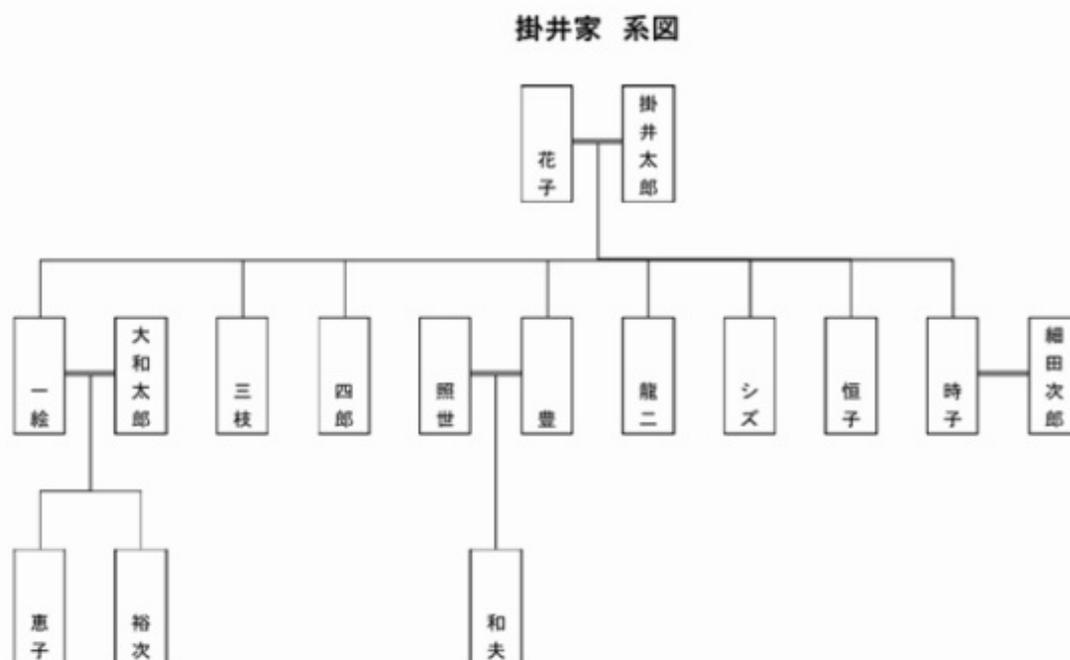


Excel で簡単家系図

無料版

本書は、下図の見本のような氏名のみシンプルな縦型家系図を Microsoft Excel で描く方法を説明したものです。

各種の専用ソフトウェアやネットワークサービスでうまく描けない方、手持ちの Excel で描きたい方のために作った操作ガイドです。より複雑な家系図や相続関係説明図を描きたい方は、これをきっかけに自分で勉強するもよいですし、有料版の「Excel で簡単家系図」を使うもよしです。



[変更点]

- 2010-8-12 Excel2000 と 2007 の操作の違いを全体にわたって補足、テンプレートも変更
- 2010-8-10 養子の結線を追加
Calc のサポート取止め (操作の類推が難しいので)
- 2010-7-30 テンプレートダウンロードの案内など変更
- 2010-7-14 夫婦結線部品を変更し 2 種類から 1 種類にした。
- 2010-7-12 公開

本書について

本書の次ページ以後はオリジナルのPDFから画像としてとりだしたのから作成しています。そのため、ページからテンプレートファイルへのリンクが必要な「2. テンプレートのダウンロード」の部分のみをリンクが出来る形に取り出しました。テンプレートファイルのダウンロードは以下からどうぞ。

=====

1.テンプレートのダウンロード

[ここをクリックして「本の紹介とサポート」のページを開き](#)、その左下部にある「家系図1」と「家系図2」をダウンロードできます。クリックするとブラウザが開くか保存するかを聞いてきます。保存を選んで、自分のパソコンに保存しましょう。以下の説明中の図は「家系図1」を使っていますが、「家系図2」でも操作は同じです。

注) この操作はお使いのパソコンの設定によって異なるかもしれません。

=====

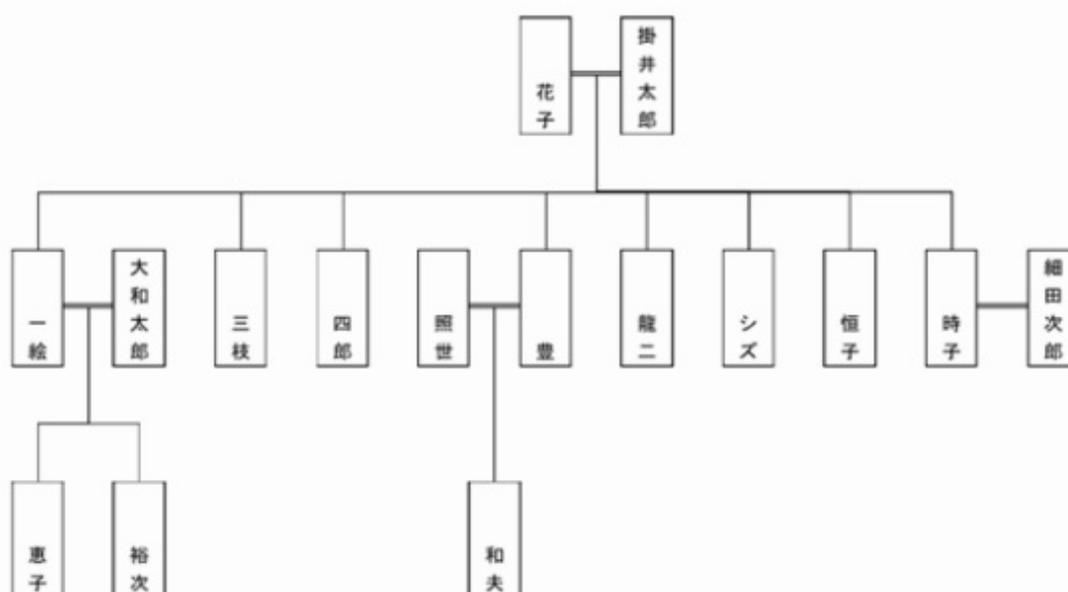
Excel で簡単家系図

無料版

本書は、下図の見本のような氏名のみシンプルな縦型家系図を Microsoft Excel で描く方法を説明したものです。

各種の専用ソフトウェアやネットワークサービスでうまく描けない方、手持ちの Excel で描きたい方のために作った操作ガイドです。より複雑な家系図や相続関係説明図を描きたい方は、これをきっかけに自分で勉強するもよいですし、有料版の「Excel で簡単家系図」を使うもよしです。

掛井家 系図



[変更点]

- 2010-8-12 Excel2000 と 2007 の操作の違いを全体にわたって補足、テンプレートも変更
- 2010-8-10 養子の結線を追加
Calc のサポート取止め (操作の類推が難しいので)
- 2010-7-30 テンプレートダウンロードの案内など変更
- 2010-7-14 夫婦結線部品を変更し 2 種類から 1 種類にした。
- 2010-7-12 公開

利用者について

Excel を通常の表計算ソフトとして利用できるだけの基本知識がある方を想定しています。

Excel のバージョンについて

Excel2000 はテキスト表示やグループに関する機能が Excel2007 に比べると弱いため、同じ図を描くのに掛かる手間がかかります。また同じスタイルで描けないものもあります。可能であれば 2007 以上を使うことをお勧めします。

説明は 2007 を主とし、2000 での操作説明を補足的に書きました。

Excel2003 は 2000 に、Excel2010 は 2007 に準じた操作で使えるはずです。

目次

1. テンプレートのダウンロード
2. 作図準備
3. 作図
 - (1) 部品のコピーと配置
 - (2) 氏名の入力
 - (3) 親子の結線
 - (4) 養子の結線
4. 印刷

1. テンプレートのダウンロード～2. 作図準備

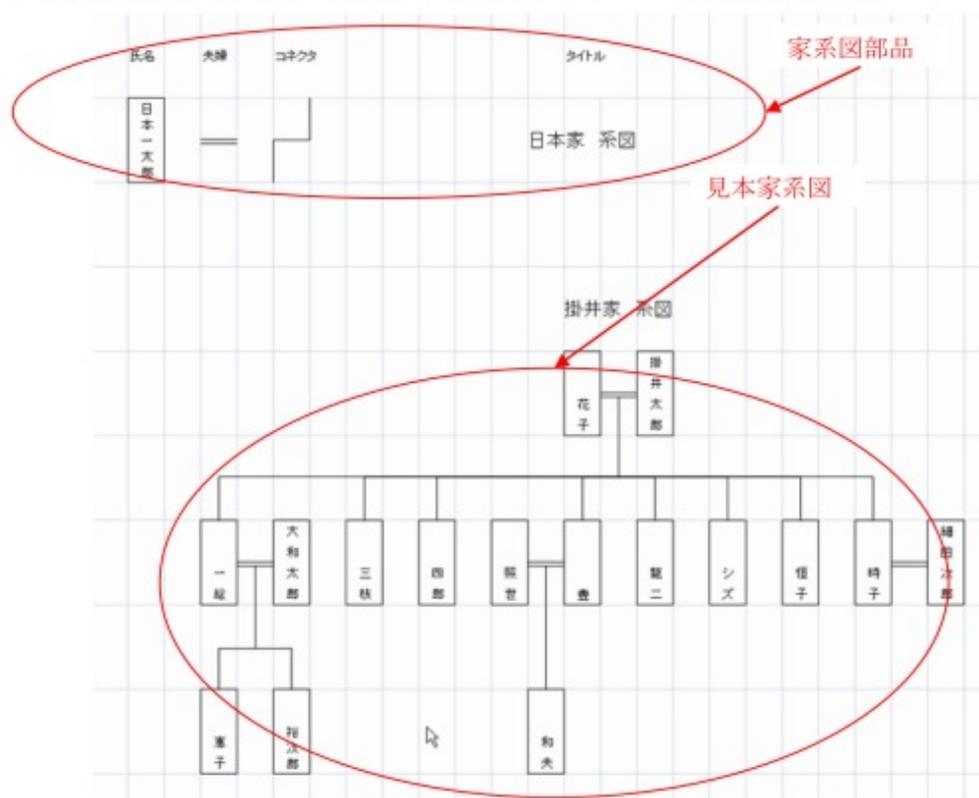
1. テンプレートのダウンロード

[ここをクリックして「本の紹介とサポート」のページを開き](#)、その左下部にある「家系図1」と「家系図2」をダウンロードできます。クリックするとブラウザが開くか保存するかを聞いてきます。保存を選んで、自分のパソコンに保存しましょう。以下の説明中の図は「家系図1」を使っていますが、「家系図2」でも操作は同じです。

注) この操作はお使いのパソコンの設定によって異なるかもしれません。

2. 作図準備

保存したテンプレートファイルを開いてみましょう。Excelで開いたところです。赤のところはファイル内にあるものでなく、このページ上の注記です。



この見本ファイルを編集して作図するので、コピーを作り適当な名前でファイルしましょう。見本の部分は不要なので、図が描かれている行を削除してしまいます。

2. 作図準備

この後、テンプレートファイルの上部にある部品を必要なだけコピーして配置し、結線していきます。その前にオブジェクト（部品・テキストボックス・図形などの事）の操作がしやすく、またマス目に沿って並ぶように、2個の設定をします。

A) オブジェクトを選択する状態に設定

この状態では、セル・行・列の選択ができなくなります。

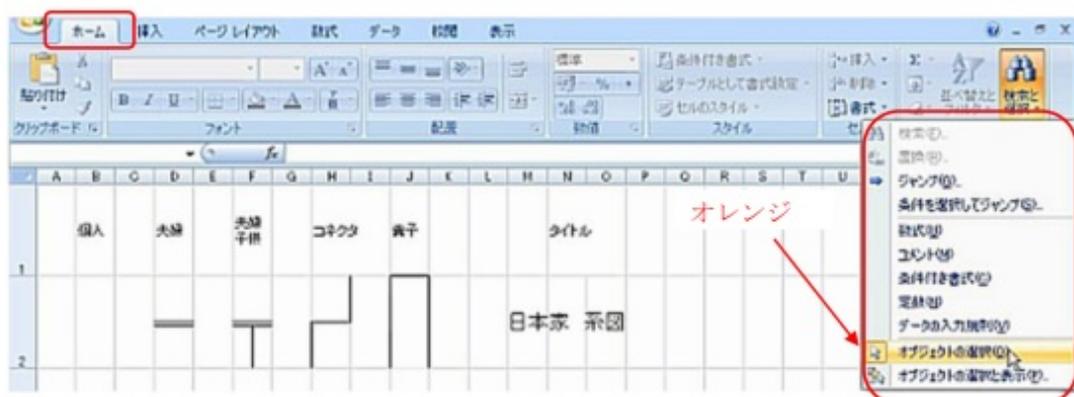
一方、複数のオブジェクトをまとめて選択する操作が容易になります。

B) オブジェクトがセル境界にのるように設定

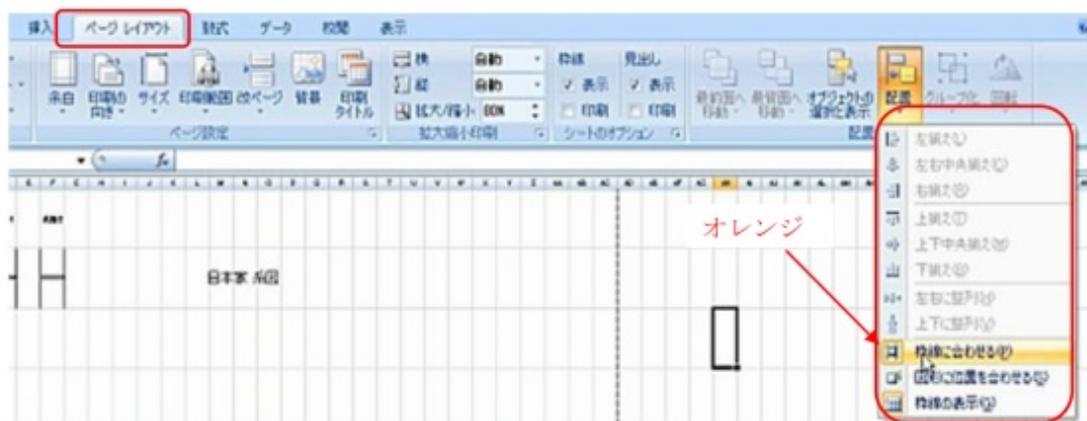
この2個の操作は両方共、同じ操作の繰り返して設定⇔解除になります。

Excel2007 での設定

A) 「ホーム」タブの「編集」の「検索と選択」で「オブジェクトの選択」が選択されている状態（オレンジ）にする。



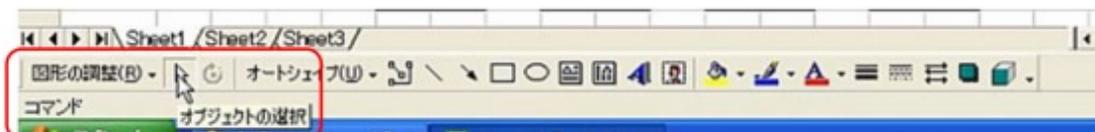
B) 「ページレイアウト」タブの「配置」で「枠線に合わせる」が選択されている状態（オレンジ）にする。



2. 作図準備

Excel2000 での設定

A) 「図形描画ツールバー」の「オブジェクトの選択」ボタンをクリックして、選択されている状態(凹んで見える)にする。



B) 「図形描画ツールバー」の「図形の調整」=>「位置合わせ」で「グリッド」が選択されている状態(凹んで見える)にする。



なお、「図形描画ツールバー」が表示されていない場合は、メニュー「表示」から「ツールバー」=>「図形表示」で表示させます。

3. 作図

3. 作図

テンプレートファイルには部品を用意しました。これを組み合わせる事で基本的な家系図を作図できます。

個人部品：氏名のみ、あるいは生没年月日が入った部品

夫婦結線部品：夫婦をつなぐための部品

Excel2007では、この部品で子供とも
つなげる事ができます

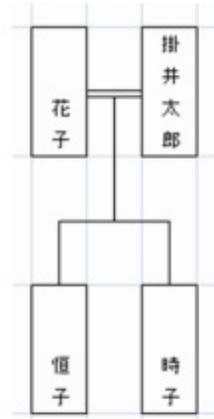
夫婦子供結線部品：夫婦、子供をつなぐための部品

コネクタ部品：親子をつなぐための部品

リボンやメニューから選んでも同じです

養子部品：養子の二重線を書くための部品

タイトル部品：単なる横書きテキストボックスです



練習用家系図の完成図

これらの部品のうち、個人部品と夫婦結線部品(Excel2000の場合は夫婦子供結線部品)を使って、夫婦2人(掛井太郎と花子)とその子2人(時子と恒子)の4人の家系図を作ってみましょう。この4人の図が作図できれば、人数が多くなっても作図できます。

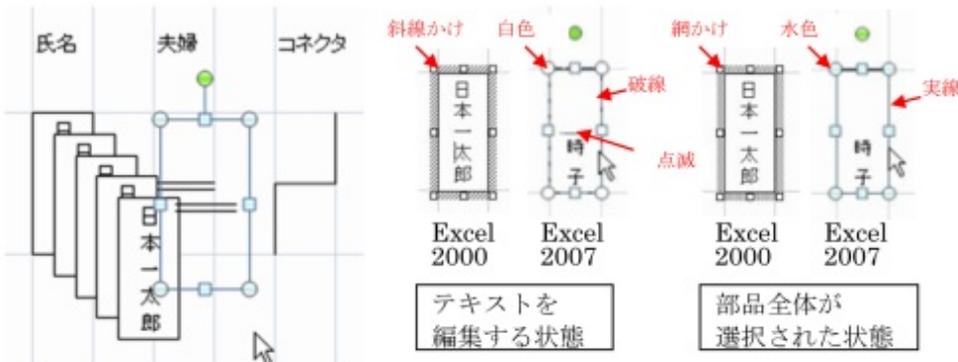
(1) 部品のコピーと配置

個人部品の複製を4個、夫婦結線部品1の複製を1個作ります。

元の部品を選択して、ctrl+D(ctrlキーとDキーを同時に押下する)の操作で複製が1個作れるので、必要な回数ctrl+Dを繰り返せば簡単に作れます。

この際、Excel2000のときは、夫婦子供結線部品を使います。

下図の左例はこのようにして複製したところです。



3. 作図

複製作業の注意点は、ctrl+D の操作の時に部品を複製可能な状態にする事です。部品を選択すると「テキストを編集する状態」か「部品全体が選択された状態」のどちらかになります。前者の状態では複製できません。テキスト内でカーソルが点滅しているのはテキストを編集する状態なので、そういう時は部品の最外縁をクリックしてやると「部品全体が選択された状態」になります。

複製を作ったら、今度はそれを置きたい場所に引っ張って移動します。



左図は移動を済ませたところです。

この作業も、複製と同様に「テキストを編集する状態」でなく「部品全体が選択された状態」で行う必要があります。

引っ張って移動するには、移動元の場所で部品の縁の上でマウス左ボタンを押し、押したまま移動先の場所までマウスを移動して、左ボタンを離します。

(2) 氏名の入力

「日本一太郎」となっているテキストを編集します。



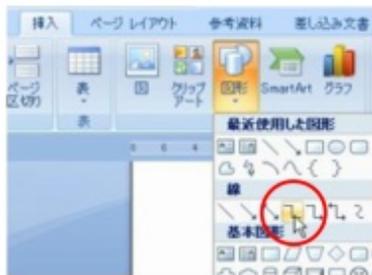
左図は、氏名をすべて編集したところです。

この作業の注意点は(1)と逆で「テキストを編集できる状態」で作業する事です。また姓を空白にするには、空白をキーインします。

3. 作図

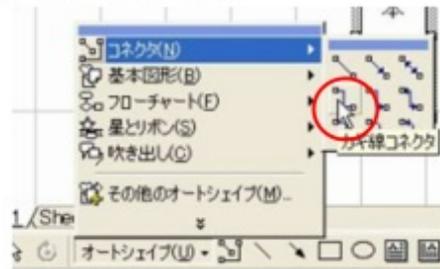
(3) 親子の結線

下図のとおりコネクタ部品を描く状態にしてやり、そののち結びたい2点を順次クリックすると結線されます。コネクタ部品を複製しても同じです。



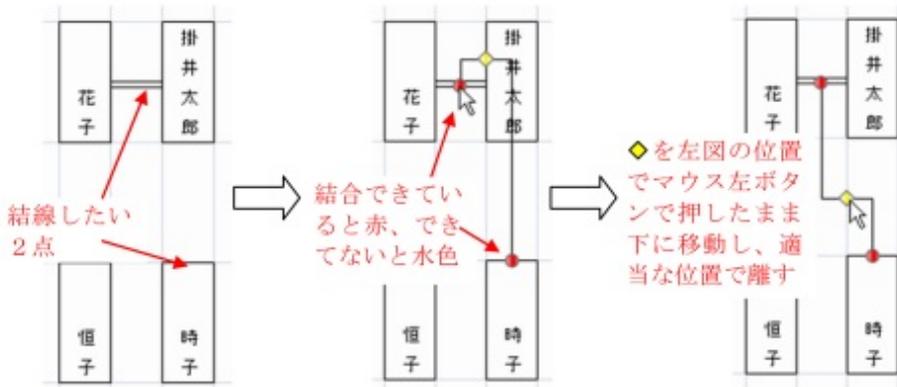
Excel2007 でのコネクタ部品選択

「挿入」=>「図形」=>「カギ線コネクタ」



Excel2000 でのコネクタ部品選択

「オートシェイプ」=>「コネクタ」
=>「カギ線コネクタ」



Excel2007 でのコネクタによる結線操作

Excel2000 は表示が違うが同様の操作

上図中央の例のように、コネクタは自動的に描かれる線が予想外の位置に出来てしまうことがあります。これは、こんなものと思って使うしかありません。

結線は、コネクタでない線で描くこともできますが、コネクタを使っておくと、人数が増えてきて配置変更のために個人部品を移動するような時に便利です。例えば子を移動しても親とのつながりが保たれます。ただしコネクタの自動描画される線の移動は再度やってやる必要があります。

こみいった配置の場合には、コネクタと他の部品との重なりを回避できないこともあります。このような時は、あきらめてコネクタでない線でつなぎましょう。

3. 作図～4. 印刷

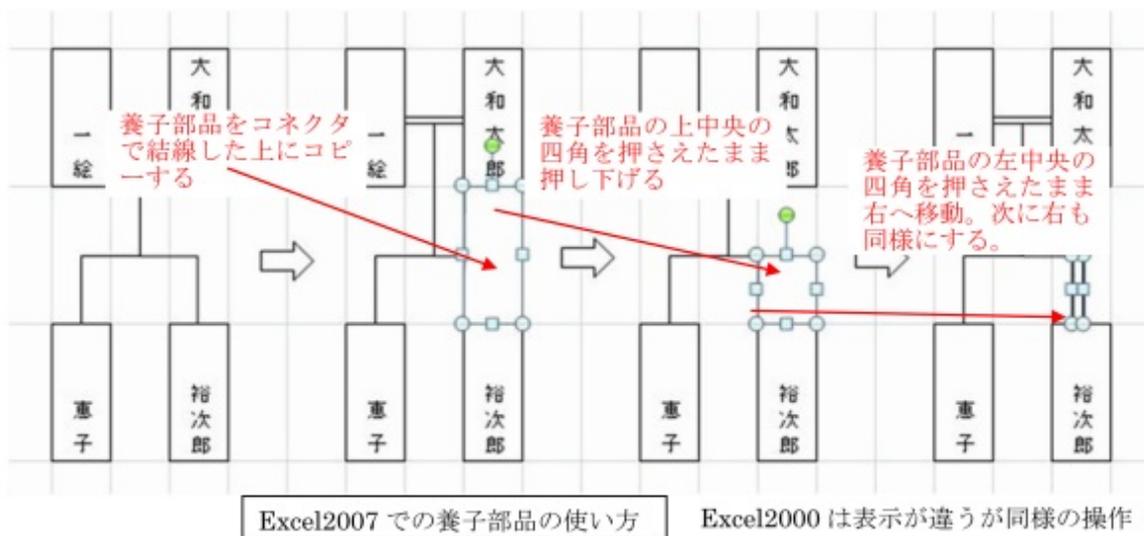


Excel2000では「直線」はコネクタではなかったのですが、Excel2007では「直線」もコネクタになりました。コネクタでない直線を描くには「フリーフォーム」を使います。「フリーフォーム」で直線を描くには始点をクリックしたら終点にマウスポインターを移動し「ダブルクリック」します。

(4) 養子の結線

「結線」としましたが、線をつなぐのではなく、縦の二重線をコネクタの上に重ね書きしてやります。

養子については、他の部品のようにコピーするだけでは、各種のケースに対応できません。以下の図のように、①コネクタで結合したところの上に養子部品をコピーし、②次に高さ、幅を調整してやります。なお、この②の操作をするには、「2. 作図準備」で説明した「図形をグリッドに合わせる」設定を解除してやる必要があります。



4. 印刷

通常の Excel の印刷操作どおり、印刷したいセルの範囲を選択して、印刷の向き・拡大/縮小などを指定してやれば印刷できます。ただし、印刷したいセルの範囲を選択するには、「オブジェクトを選択する状態」を解除してやる必要があります。